

# 財政健全化計画等執行状況報告書

## 1. 基本的事項

団体名	和歌山県日高町	会計名	水道事業会計
承認年度	平成19年度		

## 2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	3.0	2.0	1.0	3.0	1.0	a
④ 改善額	172.0	159.0	13.0	26.0	▲ 133.0	c
⑤ 公営企業債現在高	1018.0	1018.0	0.0	1315.0	297.0	a
⑥ 累積欠損金比率						
総合判定						c

## 3. その他

### (i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年1月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】 )  
 執行状況:平成22年3月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】 )

### (ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成19年12月 説明  
 執行状況:決算審査時 適宜説明

### (iii) 平成22年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ( )
  - 工業用水道事業
  - 都市高速鉄道事業
  - 下水道事業 ( )
  - 病院事業
  - 介護サービス事業
- 提出予定なし



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項



(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し



(v)改善方針の進捗状況



団体名	和歌山県日高町
会計名	水道事業会計

## ④ 改善額

類型	C
----	---

## (i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	10	41	41	40	40	172	26
実績(見込)値(B)	10	30	35	42	42	159	
乖離値(C) (B-A)	0.0	▲11.0	▲6.0	2.0	2.0	▲13.0	133.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	-26.8%	-14.6%	5.0%	5.0%	-7.6%	511.5%

## (ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
料金改定率20%→16%による料金収入の減		6	6	6	6	24		10
料金改定の1ヶ月遅延		2				2		10
大口需要者の一時休業等による減		1				1		21
需用者側での景気悪化による節水意識向上による減		2	1	1	1	5		21
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	11	7	7	7	32		

### (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

本町では、料金改定率を平成20年度4月から20%上昇で改善すべく、平成19年9月議会へ水道料金の20%上昇にかかる給水条例改正案(議案第57号)を上程し、当該議会を経て、半年程度の周知期間の後に料金改定を実施する予定で進めてきたが、議会における審議の中で、昨今の景況悪化等を踏まえ、議会の上下水道対策特別委員会へ付託されることとなり、同委員会において16%に下方修正された(供給単価:改正前196円/㎡、20%改正時235円/㎡、下方修正時227円/㎡)上で、平成20年3月議会で議決されたものであり、周知期間には最低でも1ヶ月を要したことから、議会による施策修正(改定率20%→16%への下方修正で年間6.4百万円の影響)及び実施の遅延(16%増1ヶ月遅延で2.1百万円の影響)が生じたものである。

実施の遅延については、平成20年度のみ2百万円の影響であるが、施策修正については、平成20年度以降において毎年6.4百万円の影響が生じる。

また、平成20年度においては、大口需要者の休業に伴う一時的な有収水量の減により、1百万円の影響があるとともに、景気の悪化による経済活動の停滞や節水意識の向上などにより、有収水量が減となり、2百万円の影響があった。

平成21年度についても、同様に節水意識の向上により、有収水量が減となり、(単価222.6円×有収水量減6千㎡=1.3百万円の影響)改善額が減少し、平成22年度以降においても、昨今の景況状況を勘案すると有収水量の減を見込まざるを得ない状況にあることから(22年度:単価226.4円×有収水量減5千㎡=1.1百万円、23年度:単価226.1円×有収水量減4千㎡=0.9百万円の影響)改善額の減少を見込んでいる。

### (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

平成21年度において、維持管理費における修繕費について、維持管理体制の強化・充実を図ることで、故障・漏水箇所などの早期発見・修理に努めるとともに、漏水調査を積極的に実施し、早期補修につなげ修繕費の抑制・削減に努めている。

人件費については、さらなる人件費の削減のため、平成22年2月から、職員数を1名減(3名→2名)したことにより、21年度では2ヶ月分の1.2百万円、22年度、23年度では、9.4百万円ずつの合計で20百万円の人件費を削減し、改善に向けた取り組みを行った。

### (v)改善方針の進捗状況

改善方針の進捗状況については、修繕にかかる維持管理体制の強化・充実を図ることで、故障・漏水箇所の早期発見・修繕を実施し、漏水調査を職員で実施し、早期補修により維持修繕費の削減につなげているところであり、当初の計画では、修繕費は15百万円を計画していたが、平成21年度で計画目標額を8百万円下回ることができた。また、平成22年度以降においても、5百万円程度下回るものと見込んでいる。

団体名	和歌山県日高町
会計名	水道事業会計

類型	a
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	1,241	1,143	1,112	1,066	1,018	1,315
実績(見込)値(B)	1,241	1,143	1,112	1,066	1,018	
乖離値(C) (A-B)	0	0	0	0	0	297
乖離率(D) (C/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.6%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項



(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し



(v)改善方針の進捗状況

